

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月31日

事業所名：川崎市北部地域療育センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	6	・活動を分けて行うなどの工夫をしている ・パーテーションを利用してスペースを分けて活動している。	・親子通園日は狭く感じることもあり、またコロナ禍の密が気になるため、環境設定や活動調整など必要に応じ工夫をしていく。
	② 職員の配置数は適切であるか	15	5	・子供の人数によっては職員の配置は適切。 ・クラスによって配慮する必要がある。 ・ゆっくり関われないこともあるのでクラス内で工夫している。	・基準以上の配置にはなっていますが、活動などによってはさらに体制の調整をしていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	6	・パーテーションを利用し、視覚的に分かりやすくしている。 ・ケースカンファレンスや勉強会で提案されたアイディアは検討しクラスで話し合い取り入れている。 ・通園のお子さんが利用する園バスが肢体不自由児は利用しにくい。 ・車いす用のトイレや玄関にスロープが設置されている。	・通園のお子さんが利用する園バスが肢体不自由児は利用しにくい部分があるため。座席位置の配慮や座席を補助している。また、お子さんの障がいの状態でバス利用が難しい時は個別送迎を行っている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	5	・子供がより過ごせるようにクラスで何度も考え、設定をしている。 ・仕切りをして工夫している。 ・クラスごとに、お子さんに合わせた環境設定を行っている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13	7	・反省会は全員で行っている。 ・記録を書く際に毎回照らし合わせて書くことができている。 ・半期ごとにクラスや部署内で振り返りを行い、後期に向けて確認している。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	19	1	・保護者の意見を共有している。 ・保護者にも用紙を配布し、集約し公表している。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	18	2	・ホームページで公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	5	・第3者委員会協力員の方との懇談を実施しご意見をいただいている。（コロナ禍もあるため、電話連絡で情報交換した。）	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17	3	・それぞれの年数や通園全体の研修が行われている。 ・法人からの研修、部署発信の研修など年間計画されている。	
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	18	2	・子供の様子を聞き取り、支援計画を作成している。 ・クラスで話し合い作成している。 ・支援計画の流れなど、職員に説明する機会を設けている。	
	⑪ 「子どもの発達行動のレベルを把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか」 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」	17	3		
	⑫ 「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	3		

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画を立て、その目標を見据えながら支援を行っている。</li> <li>・日々の記録を目標に沿って入力しているため、意識しながら行っている。</li> </ul>	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスでプログラムをききとり取り入れている。</li> </ul>	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	18	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定化しないように一人で決めるのではなくクラスで決めるようにしている。</li> <li>・担任間で、活動の狙い、展開など相談している。</li> </ul>	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	17	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動を計画に盛り込むことはあまりない。</li> <li>・クラスで子どもそれぞれに合わせた内容を確認し、支援計画を作成している。</li> </ul>	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで役割分担や支援内容を確認している。</li> <li>・前回、振り返って情報をもとに役割分担している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員での打ち合わせが難しいと感じる場面があり、クラスによつての違いも感じられるため、情報共有出来る方法（参加できなかった職員は、クラス日誌を確認するなど）を確立する。</li> </ul>
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	20	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反省会を行い、次に活かせることを共有している。</li> <li>・毎回反省会を行い、次回の内容も話している。</li> <li>・クラスによって行われているか否かが異なると感じる。</li> </ul>	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	18	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データとして記録を残し、確認して改善している。</li> </ul>		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	20	0			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてクラスリーダーを中心に会議に参加している。</li> </ul>	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	17	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職と連携し、支援を行っている。</li> <li>・要対協ケースは特に連携しながら行っている。</li> </ul>	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて関係機関との連携を図っている。</li> <li>・未記入 6</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未記入者は、かかわりが少ないため支援状況を把握していなかったと思われる。今後は、全体の職員が把握できるようにしたい。</li> </ul>
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて関係機関との連携を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未記入者は、かかわりが少ないため支援状況を把握していなかったと思われる。今後は、全体の職員が把握できるようにしたい。</li> </ul>
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は該当するクラスではないが併行クラスで行っている。</li> <li>・訪問週間を設定するなどして連携を図っている。</li> <li>・訪問後のやりとりが少ないように感じる。</li> </ul>	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	18	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き継ぎシートを作成している。</li> <li>・状況に応じて対面で引き継ぎを行っている。</li> </ul>	
	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例の会議などで助言をもらうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で対面での研修が難しい場面があるが、対面ではなくZOOM研修も積極的に取り入れていく。</li> </ul>

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	12	・開所している土曜日に園庭開放をしている。	・コロナ渦のため行っていない。状況や必要性を見極め、出来るところから計画するようにしていく。
	㉑ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	11	・センターのSWが参加している	
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	19	1	・親子登園日を設定し、最近の様子を伝えつつ、家での様子を聞くなどの連携を行っている。	
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	15	5	・保護者懇談会、ほくほく講座を行っている。	・プログラムまでは行っていないが、親子登園日にお子さんへの関りについて、実際の様子を確認しつつ伝えている。
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	18	2	・コロナ渦ということもあるが、内容を調整しつつ出来る限り直接伝えられている。	
	㉕ 児童発達支援/ITフインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	20	0	・児童発達支援計画を作成し面談の中で丁寧に説明し、納得していただいたうえで署名押印(同意)していただいている。	
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17	3	・成長の中で困り感など聞き取り、アドバイスできる部分は伝えている。 ・お家での様子を聞き、保護者と一緒に考え、支援を行っている。	
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	6	・数ヶ月に1回のスパンで勉強会を行っている。 ・父親交流会を毎年企画している。	
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	2	・相談があった場合に、相談内容によって担任、副園長、園長、ソーシャルワーカーなど適切な配置を検討し相談に応じている。内容に対しては迅速に対応している。	
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	18	2	・おたより、ほくほく通信を行っている。	
	㉚ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	19	1	・具体的な場面の中で、個人情報取り扱いへの注意喚起を行っている。	
	㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	20	0		
㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	9	・一度に人が集まる企画ではなく作品展などで分散して施設紹介するような機会を設けている。		
非常時	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	4	・毎月避難訓練を行っている。マニュアルについて確認し合っている。 ・衛生委員会を設置し感染症等への対応を随時検討している。	・防災訓練を見直し、より実践的な訓練をしていく必要がある。
	㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	19	1	・月ごとの避難訓練を行っている。 ・防災委員が企画し毎月訓練を行っている。	・訓練は行っているが緊張感に欠ける部分もあると感じるため、緊張感を持った訓練ができるよう、防災意識を高めるための研修などを企画する。
	㉟ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	18	2	・健康調査票を提出してもらっている。	

等 の 対 応	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	20	0	・アレルギーに対する除去食対応をするために医師からの指示書の提出をお願いしている。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16	4	・ヒヤリハットの掲示板に月ごとに掲示し集計をしている。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18	2	・虐待防止委員会を設置し必要な研修の企画をしている。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	16	4	・必要な場合は支援計画に記載し同意を得ている。 ・虐待防止の研修をしている。権利擁護についても適宜確認している。